



学校だより

令和2年6月1日
6月号
調布市立第一小学校
校長 川島 隆宏

<http://www.chofu-schools.jp/chofu-1sho> TEL042(481)7636

「新たな生活様式」と「時代をこえても 心を一つに」

校長 川島 隆宏

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休業措置が解除され、今日（6/1）から学校の教育活動が再開されました。4月6日の始業式・入学式から約2か月の間、子供たちだけでなく、保護者の皆様には家庭における学習のお世話をいただいたことについて、あらためて感謝申し上げます。

現在、社会は少しずつ日常を取り戻し始めているところですが、ウイルスは消えているわけではありません。再度感染が拡大しないように、学校においても様々な面でこれまでの生活様式を見直し、新しいルール作りを進めていく考えです。先日、安全安心メールで今後2週間の分散登校及び教育活動の見直し、今後の学校生活についてお知らせしたところです。3か月の学習を取り戻すために夏季休業の短縮や土曜授業を行っていますが、この3か月間の先が見えない、様々な制限の下での生活による子供たちの心のケアを第一に置いた教育活動を展開していくよう教職員に話したところです。今回のことをとおして、「学校ってやっぱりいい!」「友達と一緒にいられるって素晴らしい!」ということを子供たちが実感できる工夫を進めていきたいと考えます。

話は変わりますが、私が高校生のとき、歴史の先生から「歴史を学ぶ意義は、過去から学ぶことで人間の未来を創っていくことにある」ということを教えてもらいました。14世紀にペストという伝染病が大流行した際には、当時の世界の人口の2割に当たる約1億人の人が亡くなり、その際には、差別やデマ、略奪や虐殺などの悲しい出来事が起こったことも事実です。一方で、ペストの大流行という出来事が当時の社会生活だけでなく、社会構造を大きく変え、ルネサンスという新たな時代が生まれる契機となったことも事実です。ペストの大流行から700年近くが過ぎましたが、過去の歴史を教訓とし、現在起こっている様々な問題に対し、私たち人類が「心を一つ」にしてお互い助け合い、知恵を出し合って、新しい生き方時代を創っていかうとする姿を子供たちに伝えていくことが大人の責任であると考えます。

今後必要となる「新たな生活様式」を子供とともに作りながら、これからの時代に希望をもって頑張っていく子供たちを育成してまいりますので、本校の教育活動に対し、今後とも御理解、御協力いただきますようお願いいたします。



6月の生活目標 身の回りの清潔に努めよう

手洗いをしっかりして、身体の清潔を心掛けてほしいと思います。また、教室内での過ごし方を考え、保健、安全に関する意識を高められるよう、指導していきます。